

佐野市の未来を 再生可能エネルギーで!!

もう始まっている未来

エネルギーとお金を佐野市で循環させる

●2050年（これから37年後）
日本の6割以上の地点で、人口が半分以下に減少します。



現在の佐野市の一般会計予算は430億円。佐野域外に流出しているエネルギー関連のお金が約260億円（推計）。今後エネルギー代は、電力料金が2倍になるとも言われ、ますます増えていきます。もしも、エネルギーを佐野市で作ることができたなら、仕事も増え、260億円を超えるお金が佐野市の中で循環できます。それを表現するのが、再生可能エネルギーなのです。

技術士として

●2035年 佐野市の場合（これから22年後）
総人口で約2割減（17.8%）、年少人口（0才～14才）は4割減（39.5%）生産年齢人口（15才～64才）は3割減（28.7%）、老年人口（65才～）は3割増（27.9%）という推計が出ています。（国立社会保障人口問題研究所）

問題は、税金を納める稼ぎ頭が3割減って、高齢者が3割増え、税収が減った時、今と同じ社会サービスが受けられるかどうかです。

私は、省エネルギー技術開発を永らく仕事としてきました。また、技術士*としての知識と経験を生かし、再生エネルギーを推進する上で、佐野の未来に貢献したいと考えています。

討議資料

「技術士」は科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者で、科学技術の応用に携わる技術者に与えられる権威のある国家資格です。

連絡事務所 佐野市馬門町 1597 電話 0283-23-8263

PHOTO BY BANGUI WINDMILL, ILOCOS NORTE

小暮 ひるし